



2007年9月20日

報道機関のみなさまへ

賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会

『賀川豊彦の生家』が判明しました

拝啓 初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

当委員会も、4月28日、「賀川豊彦献身100年記念事業第1回神戸プロジェクト委員会」を開催し、ようやく記念事業の実行体制が整った次第です。

さて、主題の件ですが、賀川豊彦は明治21年(1888年)7月10日(戸籍上は、同年7月12日)に、兵庫島上町108番屋敷(現：神戸市兵庫区島上町1丁目3号1番地付近)で生を受けました。

明治25年1月19日(1892年)父親の賀川純一が赤痢で急逝(享年44歳)、母親カメを翌年の明治26年(1893年)1月17日に亡くし、1月中に徳島県板野郡掘江村(現：鳴門市大麻町東馬詰)の賀川本家に引き取られました。

この間、賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会では、賀川豊彦の生家探索(兵庫島上町108番屋敷の所在地調査)を行なってきました。

この度、多くの方々のご尽力でようやく生家の場所が確認できましたのでお知らせいたします。

また、『賀川豊彦の思い出さがし』として、賀川豊彦にゆかりのある方々から、賀川が残した書画や手紙、思い出などがあればお申し出いただき、記録及び保存することを計画いたしました。あわせて報道くださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

(1) 『賀川豊彦の生家』について <添付資料 参照ください>

兵庫区島上町1丁目3番1号の一角 (現：石川株式会社神戸食料倉庫)

(2) 『賀川豊彦の思い出さがし』について <添付資料 参照ください>

明治20年前後の島上町境界の字限図(あざきりず)や賀川豊彦による書画や手紙など。また、賀川豊彦および共に生きた人たちの写真、思い出や記念の品をお持ちの方は、下記までお知らせください。

受付 賀川豊彦記念館 (〒651-0076神戸市中央区吾妻通5-2)

担当 西義人 高田裕之

電話 078-221-3627 (FAX)078-231-2891

時間 平日午前10時~午後5時まで(土日、祝日はお控えください)

なお、お問い合わせにつきましては上記まで。以上よろしくようお願い申し上げます。

Press Center

賀川豊彦献身100年記念事業関西実行委員会プレスセンター

<資料編 > 賀川豊彦の『生家』探索について

(1) 現在の所在地

現在の所在地：神戸市兵庫区島上町1丁目3番1号
石川株式会社 神戸食料倉庫

上記の所在地：石川株式会社本社手前を左折すぐのところ

(2) 『生家』確定に至った経過 出典：法務局備え付けの土地台帳より

賀川豊彦の生家とされる『屋敷番号108番』を記した、明治21年当時の字限図は現時点では発見できていません。したがって、現時点では上記地番の一角であったとしかいえません。

明治43年の島上町の字限図では、『100番』の次が『113番』となっています。

この『100番』は、明治22年以降、小寺泰次郎氏が所有されていました。
(それ以前は判明していません)

明治35年12月5日に、101番、102番、103番、104番、105番、106番、107番、**108番**、109番、110番、111番、112番を、100番として合筆されています。

字限図(あざきりず)とは
明治時代の初期のころに行われた、地租改正の際に作られた土地境界を示した地図の一つです。別名地租改正図ともよばれています。

(3) 石川株式会社様が所有された時期 (石川株式会社様のホームページから)

石川株式会社様本社ビルは、明治38年、三菱倉庫の前身、東京倉庫兵庫出張所として建てられました。設計は、後の帝国大学の母体となった工部大学校造家学科の第1回卒業生で、東京丸の内の「れんが建築群」や旧三菱銀行神戸支店を手がけた曾禰達蔵氏が担当したもので、昭和10年代にこの建物を購入され、昭和20年から本店として使用されています。

賀川豊彦の生家と推定され、現在、同社の『神戸食品倉庫』(兵庫区島上町1丁目3-1)は、本社ビルの北東にあたります。ここは、昭和23年に購入され現在に至っているとのことです。

(4) 賀川豊彦の生家があった、現在の場所

賀川豊彦生家と推定される場所
 (この一角にあったと推定される)
 石川株式会社神戸食料倉庫
 兵庫区島上町1丁目3-1



生家があった場所の現在の所有者

石川株式会社本社
 兵庫区島上町1丁目2-10



N

